



北斎
葛飾
遊女
図



綴プロジェクト作品 遊女図 葛飾北斎筆

原本所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区（収蔵先：すみだ北斎美術館）

Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C. : Gift of Charles Lang Freer, F1903.129.

北斎、日本に帰る

Vol.10

『遊女図』

葛飾北斎筆

綴プロジェクト作品
(高精細複製品)

綴TSUZURI
文化財未来継承プロジェクト

恋する遊女のプライベートタイム。

右手にしっかりと握る手紙。想い人からか。開けた着物の端をちよいとくわえ、読むか読まぬか迷い佇む。仕事を終えた遊女のプライベートな一瞬を覗き見るよう。「遊女図」は、宗理と名乗った三十代、北斎初期の美人画の代表作である。当時人気の喜多川歌麿の浮世絵に倣いつつ、私的な姿を描くのは北斎ならではの整った瓜実顔の中の日元、口元は物憂げな表情を見せる。遊女に何があつたのか。若き北斎が確かな技で、見る者の想像力を掻き立てる。

「遊女図」は北斎の肉筆画としても初期の作品。緻密な筆遣いなどから既に優れた技量を備えていたとわかります。原本を収集したフリーア氏も、肉筆画に見られる北斎の卓越した技を高く評価しました。北斎ならではの美人を、高精細複製品で多くの方に間近で堪能していただきます。

日本の美を、人へ、

未来へ、伝えていく。



詳細は、公式サイト
でご覧いただけます。
global.canon/ja/tsuzuri

公開情報
六月三十日(火)～八月二日(日)、
綴プロジェクト作品「鍋冠祭図」「遊女図」
をすみだ北斎美術館で公開予定。詳細は
美術館ホームページでご確認ください。

Canon